

# 世界最先端の技術経営とマーケティング戦略

The Most Advanced MOT & Marketing Strategy in the World

担当教員	田中道昭（専任）	単位数	2単位
開講学期	秋学期	開講曜日・時限	金曜日・土曜日 授業スケジュール参照
位置づけ	マーケティング・営業 発展/ケーススタディ		
区分	総合・実践科目		

科目紹介	
科目の重要性・必要性	<p>本講座は、急速に進化するテクノロジーがもたらす産業構造の変化と、グローバル経済における競争環境の激化に対応するために開講するものである。技術経営（Management of Technology）を軸に、最先端テクノロジーを活用した企業戦略やマーケティング手法を体系的に学ぶ。GAFAMやTesla、NVIDIAといった世界をリードする企業の事例を通じ、革新のメカニズムを解明し、戦略的思考力を育成することを目的とする。また、テクノロジー覇権が国家安全保障や経済政策に与える影響を探求し、日本企業が直面する課題への具体的な解決策を見出す視点を提供する。さらに、受講生が自社の経営資源を分析し、それを活用・発展させるための実践的なアプローチを学び、自社の競争力強化につなげることも重視する。文理融合のアプローチを通じて、技術理解と経営視点を統合し、次世代リーダーの育成と持続可能な社会の実現を目指す。</p>
科目の目的	<p>本科目のねらいは、最先端テクノロジーが企業戦略や産業構造に与える影響を深く理解し、自社の経営に活用するための戦略的思考力を育成することである。GAFAMやTeslaの事例を通じて、革新のメカニズムを解明し、技術経営の視点から競争優位を構築する方法を学ぶ。また、テクノロジー覇権が国家安全保障や経済政策に与える影響を理解し、受講生自身が自社の課題を具体的に解決するための実践的な知識を身につけることを目指す。文理融合のアプローチにより、技術力と経営力を兼ね備えたリーダーとして、自社の発展に貢献するとともに、持続可能な社会と国際競争力向上を実現する能力を養成する。</p>

<p><b>到達目標</b></p>	<p>本科目の到達目標は、受講者が「世界最先端の技術経営とマーケティング戦略」を深く理解し、それを自らの業界や自社に適用できる能力を身につけることである。最終回では、各自が学んだ内容を基に、自社や業界における応用事例を具体的に作成し、実践的な成果物として提示することを目指す。また、グローバルな視点で最先端技術を活用し、企業の競争力を強化するリーダーシップと戦略的思考を養うことも重要な目標である。本科目は、受講者自身の成長とともに、所属組織や日本全体の競争力向上に貢献する人材を育成することを目的としている。</p>
<p><b>受講してもらいたい院生</b></p>	<p>本科目を受講してもらいたい院生は、テクノロジーと経営戦略の融合に強い関心を持ち、最先端の技術を活用して企業や社会に革新をもたらす使命感を抱く人材である。自らの業界や企業の未来を切り開くために、積極的に学び、実践的な知識を応用できる意欲を持つ学生が求められる。また、グローバルな視点でテクノロジー覇権や経済安全保障の問題に向き合い、リーダーシップを発揮できる人材として成長することを目指す。</p>

<p><b>授業計画</b></p>		
<p><b>第1回</b></p>	<p><b>予習・復習時間</b></p>	<p>予習時間：5時間、復習時間：2時間</p>
	<p><b>予習・復習内容</b></p>	<p>予習内容:事前課題への取り組み。復習内容:授業や事前課題の復習。</p>
	<p><b>授業内容</b></p>	<p>「世界最先端の技術経営とマーケティング戦略の基本概念を学ぶ。」：技術がどのように戦略的役割を果たすか、企業競争力やマーケティング戦略への影響を考察する。さらに、テクノロジー覇権がグローバル経済に及ぼす影響や、最先端技術を活用した事業創造の基盤を理解する。講義全体の概要と今後のディスカッションテーマを提示する。</p>
	<p><b>授業課題</b></p>	<p>無</p>

第2回	予習・復習時間	予習時間：5時間、復習時間：2時間
	予習・復習内容	連続授業であるため前回と同じ。
	授業内容	「世界最先端の技術経営とマーケティング戦略の基本概念を学ぶ。」：技術がどのように戦略的役割を果たすか、企業競争力やマーケティング戦略への影響を考察する。さらに、テクノロジー覇権がグローバル経済に及ぼす影響や、最先端技術を活用した事業創造の基盤を理解する。講義全体の概要と今後のディスカッションテーマを提示する。連続授業。
	授業課題	無
第3回	予習・復習時間	予習時間：5時間、復習時間：2時間
	予習・復習内容	予習内容:事前課題への取り組み。復習内容:授業や事前課題の復習。
	授業内容	「AI及び半導体業界における世界最先端の技術経営とマーケティング戦略（含むエヌビディアの事例研究）」：AIと半導体業界が現代のテクノロジー覇権を形作っていることを学ぶ。エヌビディアを事例に、AIや半導体技術が産業構造を変革し、競争優位を築いたプロセスを分析する。さらに、グローバル競争と技術供給網の重要性についても理解を深める。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	その他
その他のフィードバック方法	個別フィードバックと全体フィードバックや授業中での解答例示を併用する。	

第4回	予習・復習時間	予習時間：5時間、復習時間：2時間
	予習・復習内容	連続授業であるため前回と同じ。
	授業内容	「AI及び半導体業界における世界最先端の技術経営とマーケティング戦略（含むエヌビディアの事例研究）」：AIと半導体業界が現代のテクノロジー覇権を形作っていることを学ぶ。エヌビディアを事例に、AIや半導体技術が産業構造を変革し、競争優位を築いたプロセスを分析する。さらに、グローバル競争と技術供給網の重要性についても理解を深める。連続授業。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	その他
	その他のフィードバック方法	個別フィードバックと全体フィードバックや授業中での解答例示を併用する。
第5回	予習・復習時間	予習時間：5時間、復習時間：2時間
	予習・復習内容	予習内容:事前課題への取り組み。復習内容:授業や事前課題の復習。
	授業内容	「モビリティ業界における世界最先端の技術経営とマーケティング戦略（含むテスラの事例研究）」：テスラを事例に、電気自動車（EV）や自動運転技術の進化がもたらす社会的・経済的影響を学ぶ。同社のビジネスモデル、技術革新、マーケティング戦略を分析し、競合との差別化要因を探る。また、再生可能エネルギーとモビリティの統合による新たな事業機会を考察する。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	その他
	その他のフィードバック方法	個別フィードバックと全体フィードバックや授業中での解答例示を併用する。

第6回	予習・復習時間	予習時間：5時間、復習時間：2時間
	予習・復習内容	連続授業であるため前回と同じ。
	授業内容	「モビリティ業界における世界最先端の技術経営とマーケティング戦略（含むテスラの事例研究）」：テスラを事例に、電気自動車（EV）や自動運転技術の進化がもたらす社会的・経済的影響を学ぶ。同社のビジネスモデル、技術革新、マーケティング戦略を分析し、競合との差別化要因を探る。また、再生可能エネルギーとモビリティの統合による新たな事業機会を考察する。連続授業。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	その他
	その他のフィードバック方法	個別フィードバックと全体フィードバックや授業中での解答例示を併用する。
第7回	予習・復習時間	予習時間：5時間、復習時間：2時間
	予習・復習内容	予習内容:事前課題への取り組み。復習内容:授業や事前課題の復習。
	授業内容	「EC及びクラウド業界における世界最先端の技術経営とマーケティング戦略（含むアマゾンの事例研究）」：アマゾンのECプラットフォームとAWS（クラウド事業）を題材に、データ活用や顧客体験の向上がどのように市場支配力を強化したかを分析する。クラウド技術が新たなビジネスモデルを生み出し、競争優位性を向上させた具体例を学ぶ。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	その他
	その他のフィードバック方法	個別フィードバックと全体フィードバックや授業中での解答例示を併用する。

第8回	予習・復習時間	予習時間：5時間、復習時間：2時間
	予習・復習内容	連続授業であるため前回と同じ。
	授業内容	「EC及びクラウド業界における世界最先端の技術経営とマーケティング戦略（含むアマゾンの事例研究）」：アマゾンのECプラットフォームとAWS（クラウド事業）を題材に、データ活用や顧客体験の向上がどのように市場支配力を強化したかを分析する。クラウド技術が新たなビジネスモデルを生み出し、競争優位性を向上させた具体例を学ぶ。連続授業。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	その他
	その他のフィードバック方法	個別フィードバックと全体フィードバックや授業中での解答例示を併用する。
第9回	予習・復習時間	予習時間：5時間、復習時間：2時間
	予習・復習内容	予習内容:事前課題への取り組み。復習内容:授業や事前課題の復習。
	授業内容	「小売業界における世界最先端の技術経営とマーケティング戦略（含むウォルマートの事例研究）」：ウォルマートを事例に、小売業界でAIやIoTがどのように効率化や顧客満足度の向上を実現したかを学ぶ。同社がサプライチェーンと店舗運営を最適化し、競争力を高めた手法を分析する。さらに、コスト削減と市場適応の戦略を探る。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	その他
	その他のフィードバック方法	個別フィードバックと全体フィードバックや授業中での解答例示を併用する。

第10回	予習・復習時間	予習時間：5時間、復習時間：2時間
	予習・復習内容	連続授業であるため前回と同じ。
	授業内容	「小売業界における世界最先端の技術経営とマーケティング戦略（含むウォルマートの事例研究）」：ウォルマートを事例に、小売業界でAIやIoTがどのように効率化や顧客満足度の向上を実現したかを学ぶ。同社がサプライチェーンと店舗運営を最適化し、競争力を高めた手法を分析する。さらに、コスト削減と市場適応の戦略を探る。連続授業。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	その他
	その他のフィードバック方法	個別フィードバックと全体フィードバックや授業中での解答例示を併用する。
第11回	予習・復習時間	予習時間：5時間、復習時間：2時間
	予習・復習内容	予習内容:事前課題への取り組み。復習内容:授業や事前課題の復習。
	授業内容	「金融業界及びフィンテックにおける世界最先端の技術経営とマーケティング戦略」：フィンテック革命が金融業界に与える影響を考察する。デジタル決済、AIリスク管理、ブロックチェーンなどの革新技術が、既存の金融機関とフィンテック企業の戦略にどのような影響を及ぼしているかを分析する。規制や国際競争の観点も取り入れる。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	その他
	その他のフィードバック方法	個別フィードバックと全体フィードバックや授業中での解答例示を併用する。

第12回	予習・復習時間	予習時間：5時間、復習時間：2時間
	予習・復習内容	連続授業であるため前回と同じ。
	授業内容	「金融業界及びフィンテックにおける世界最先端の技術経営とマーケティング戦略」：フィンテック革命が金融業界に与える影響を考察する。デジタル決済、AIリスク管理、ブロックチェーンなどの革新技術が、既存の金融機関とフィンテック企業の戦略にどのような影響を及ぼしているかを分析する。規制や国際競争の観点も取り入れる。連続授業。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	その他
	その他のフィードバック方法	個別フィードバックと全体フィードバックや授業中での解答例示を併用する。
第13回	予習・復習時間	予習時間：5時間、復習時間：2時間
	予習・復習内容	予習内容:事前課題への取り組み。復習内容:授業や事前課題の復習。
	授業内容	「テクノロジー覇権と経済安全保障」：テクノロジー覇権が国家間競争や経済安全保障に与える影響を検討する。特に米中間の競争やサプライチェーン分断、デカップリングの進展を中心に議論する。国家戦略と企業戦略の関係性や、地政学的な要素を含めた分析を行う。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	その他
	その他のフィードバック方法	個別フィードバックと全体フィードバックや授業中での解答例示を併用する。

第14回	予習・復習時間	予習時間：5時間、復習時間：2時間
	予習・復習内容	連続授業であるため前回と同じ。
	授業内容	「テクノロジー覇権と経済安全保障」：テクノロジー覇権が国家間競争や経済安全保障に与える影響を検討する。特に米中間の競争やサプライチェーン分断、デカップリングの進展を中心に議論する。国家戦略と企業戦略の関係性や、地政学的な要素を含めた分析を行う。連続授業。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	その他
	その他のフィードバック方法	個別フィードバックと全体フィードバックや授業中での解答例示を併用する。
第15回	予習・復習時間	予習時間：5時間、復習時間：2時間
	予習・復習内容	予習内容:事前課題への取り組み。復習内容:授業や事前課題の復習。
	授業内容	「世界最先端の技術経営とマーケティング戦略を日本企業に適用する」：これまでの講義内容を基に、日本企業が最先端の技術経営やマーケティング戦略をどのように活用できるかを議論する。具体的な日本企業の事例を検討し、成功のためのアプローチを探る。さらに、受講者が自身の職場やプロジェクトで応用可能な提案を行う。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	その他
	その他のフィードバック方法	個別フィードバックと全体フィードバックや授業中での解答例示を併用する。

授業情報

<b>授業方法</b>	講義と、グループワークやディスカッションの組み合わせで行われる。
<b>テキスト</b>	各回ごとにレクチャーノートを配布する
<b>参考図書</b>	適宜紹介する。

<b>評価方法</b>		
<b>評価の視点</b>	<b>評価 ウェイト</b>	<b>備考</b>
①課題に対する理解と実践 への姿勢	40%	課題への取り組み努力と内容
②授業への参加姿勢	60%	積極的な発言と貢献、柔軟な発想力、各人レベルでの 成長
合計	100%	

<b>受講生へ (授業科目のアピールポイント、必要な基礎となる科目の履修や知識・スキル)</b>
<p>本科目では、AIや半導体、モビリティ、クラウドといった世界最先端のテクノロジー分野における経営とマーケティング戦略を学ぶ。GAFAMやTesla、NVIDIAなどの事例研究を通じて、グローバル競争の本質を解明し、それを各自の業界や自社に応用する力を養うことができる。理系出身者が多い環境で文理融合の視点を磨き、次世代を担うリーダーとしての成長を目指す。また、単なる知識の習得にとどまらず、実践的スキルとグローバルな視野を得る貴重な機会である。挑戦と革新を志す受講生を歓迎する。</p>